



学校だより

令和8年4月30日
横浜市立太田小学校
5月号

やってみたいことを大切に

校長 佐々木 慶子

新年度を迎え、早いもので1か月が経ちました。寒暖差が大きく、季節の変わり目でもあります。新しい環境に慣れるため、何かと気を遣いながらがんばってきた4月の疲れが出る頃です。ゴールデンウィークは、少しゆったりと、リフレッシュできる時間になればと願っています。

4月14日に全校児童が体育館に集まり「1年生を迎える会」が開かれました。6年生にエスコートされて1年生が入場し、5年生の「はじめの言葉」で会がスタートしました。「太田のたからばこ」の歌や4年生のクイズ、2年生からは入学祝いのメダルがプレゼントされました。3年生の「おわりの言葉」まで、みんなで1年生を迎える温かい楽しい時間になりました。会の途中には、サプライズとして「おーにゃん」が登場するなど、1年生を飽きさせない工夫も要所要所に見られました。1年生は30分間ですっかり太田小学校の仲間入りをしました。

4月24日には、早速、校長室に低学年の児童10名が学校探検に訪れました。歴代校長先生の写真を見て「たくさん写真がある。」と驚いたり、飾ってある眞葛焼の壺に気が付いたりして、部屋の様子にわくわくしている姿が印象的でした。眞葛焼の壺に気が付いた児童は、「すてきな壺。もっと見たい!」と言い、名残惜しそうにしていました。「また、ゆっくり見に来ていいですよ。」と言葉をかけるとうれしそうに「また来たい!」と言って校長室を後にしていきました。

教室に戻る子どもたちの後姿を見送りながら「新しいことをする楽しさ」を私自身、改めて感じました。初めての場所、初めて見るもの、初めて出会う人。ちょっぴり緊張しながらも胸がわくわくする……。そんな一つ一つの経験が、子どもたちの心と体を大きく育てていくのだと思います。そして、大切なのは自分の力でやってみて「できた」と実感できる経験です。たとえ小さな一歩でも「できた」という喜びや自信は、これからの人生を支える生きる力の源泉となっていきます。太田の子どもたちの「やってみよう」「もっと知りたい」という気持ちを大切に、安心して学校生活を送ることができるよう教職員一同、力を合わせて支えてまいります。